

審 査 編

令和4年度

給排水審査検査方法の改定説明会

目次

1. 改定となる書籍
2. これまでの改定内容のおさらい
3. 7月から改定する内容について

1. 改定となる書籍

水道

- 給水装置工事基準書
- 給水装置工事設計施工技術書
- 給水装置工事図面作成方法
- 給水装置工事申込みの手引き

下水道

- 横須賀市排水設備指針

目次

2. これまでの改定内容のおさらい

水道

下水道

2. これまでの改定内容のおさらい

水道

- ① 工事中用仮設配管
- ② 舗装先行工事における給水管径
- ③ 既設給水管の材質に起因するリスク
- ④ 換算栓数の数え方

① 工事中仮設配管

これまで

給水装置

SSP使用

排水設備

勾配・埋設等

本設と同様の基準で…

① 工事中仮設配管

仮設材料使用可

給水装置

工事中

これから

排水設備

13号様式

JWWA

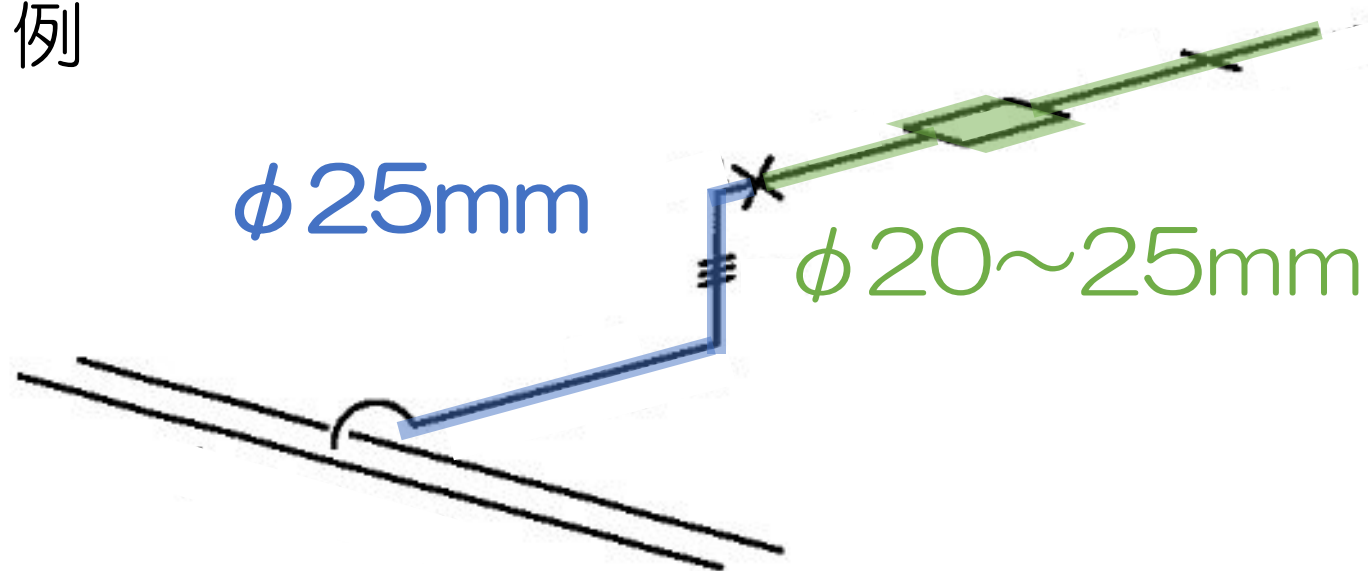
構造及び材質基準に
適合した材料

JSWAS

②舗装先行工事における給水管径

本管から第一止水栓までの取り出し口径（最低）は $\phi 25\text{mm}$

例




立面図

第一止水栓より先は
取り出し口径以下。
計画している給水量
の見合った口径。

③既設の給水管の材質に起因するリスク

LP.GP.CP等の給水管を使用する場合



備 考	既設鉛管〇〇mmを使用します。
--------	-----------------

誓約文は以後不要

お客様に十分説明を行い
了承を得てから提出

④換算栓数の数え方

他の水栓と同時に使用することの多い水栓（**常時水栓**）のみ対象

例

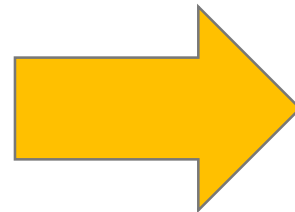
給湯器

屋外の水栓

バルコニー水栓

など

同時使用しない

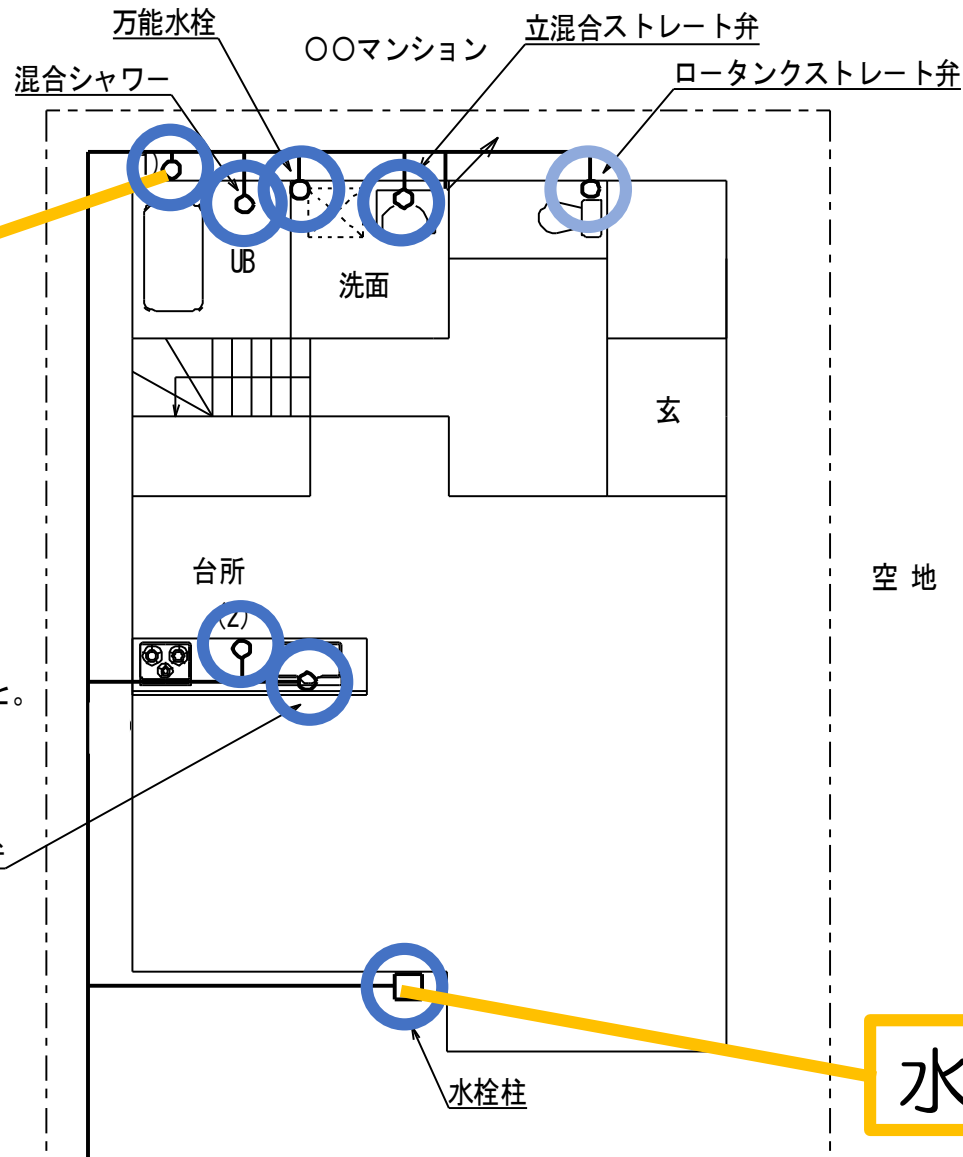


**“換算栓数に
含めなくても良い”**

④換算栓数の数え方

これまでは (100)

給湯器

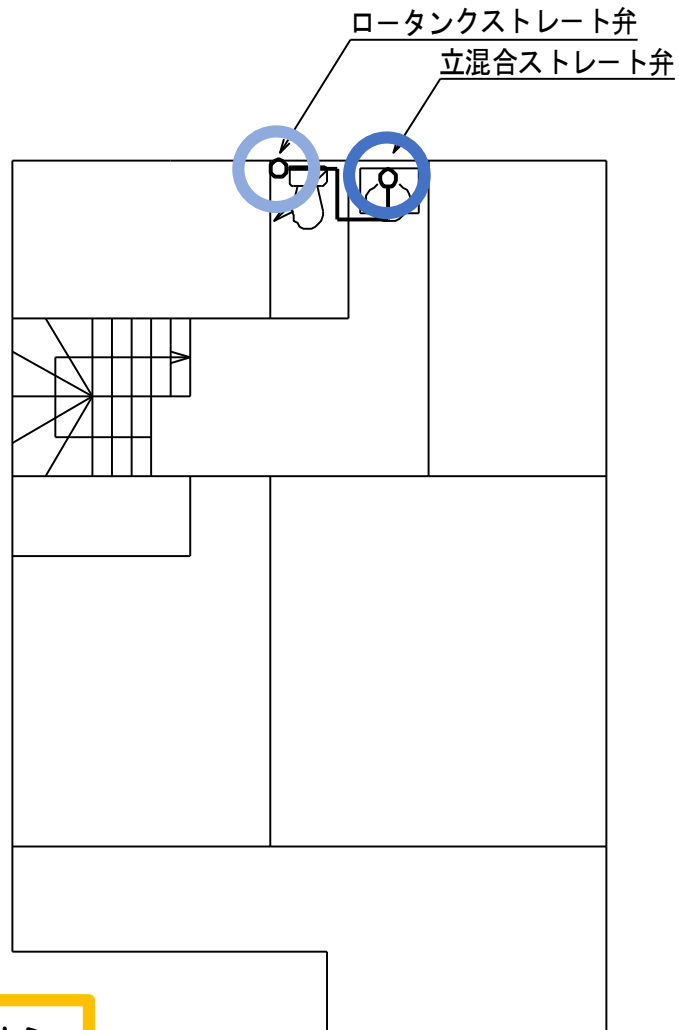


〇〇町〇-〇-〇
※個人宅の場合は、
個人名は記入せず、
住所表記とすること。

立混合ストレート弁

9栓

水栓柱



空地

2F平面図

④換算栓数の数え方

これからは

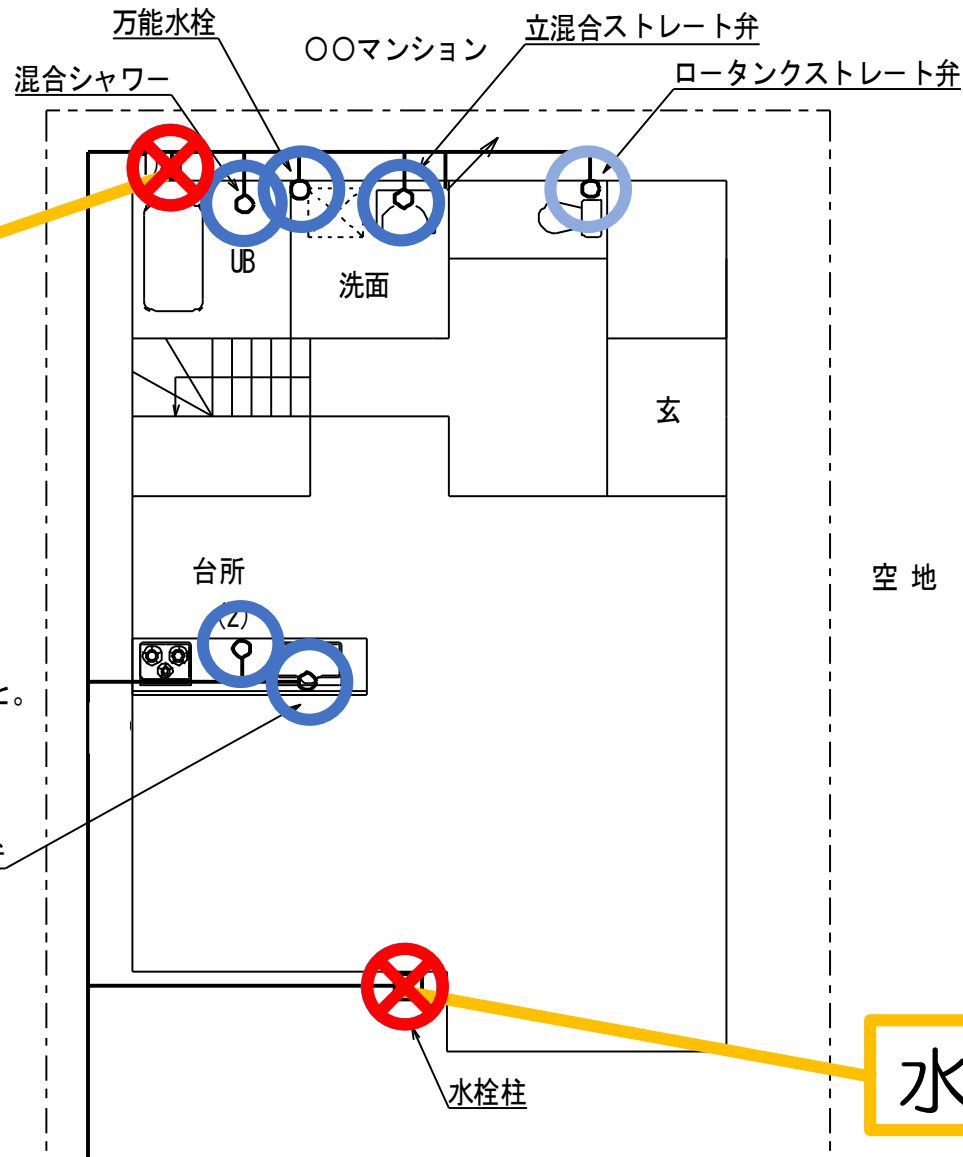
(100)

給湯器

〇〇町〇-〇-〇
※個人宅の場合は、
個人名は記入せず、
住所表記とすること。

立混合ストレート弁

7栓



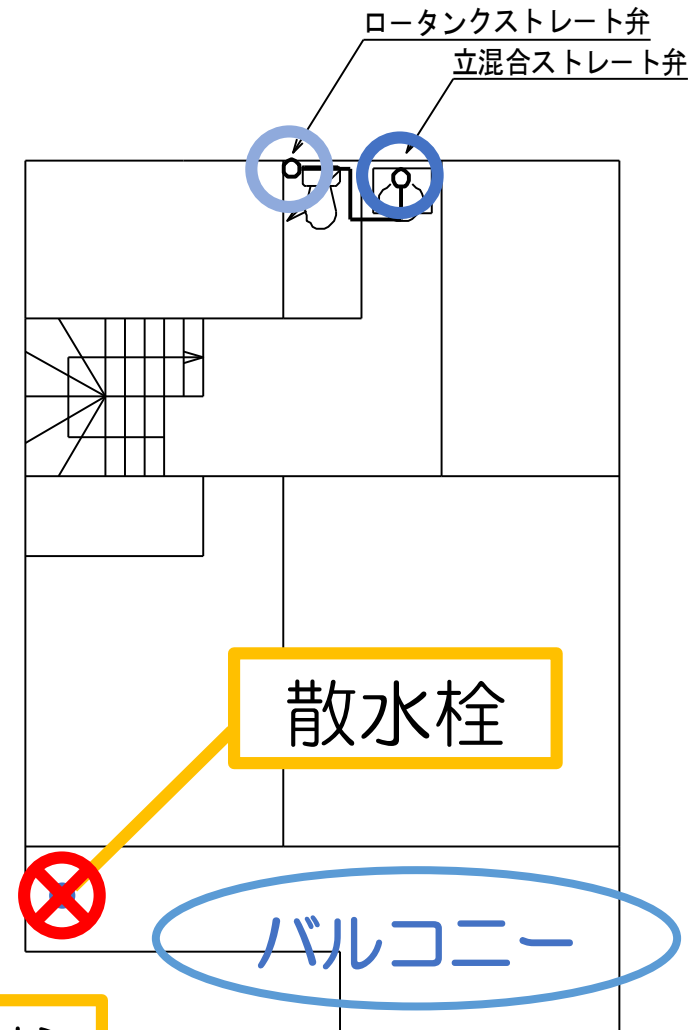
空地

散水栓

バルコニー

水栓柱

2F平面図



目次

2. これまでの改定内容のおさらい

水道

下水道

2. これまでの改定内容のおさらい

下水道

- ⑤ ドレン排水
- ⑥ 自費施行申請

⑥ ドレン排水

エアコン等のドレン排水（給湯器除く）処理は、
汚水系統、雨水系統または浸透施設へ接続してください。

エアコン等

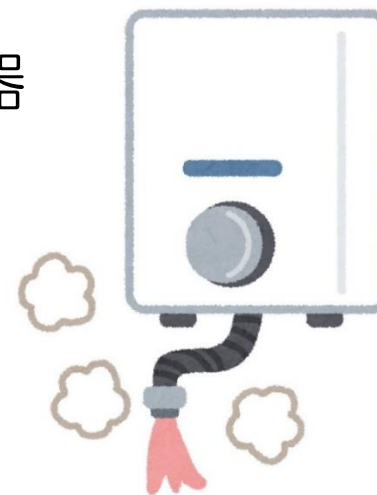


汚水

雨水

浸透

給湯器



汚水

⑥ 自費施行申請

これまで

排水計画申請
(給排水審査係)

自費施行
(給排水管理係)

掘削申請
(建設部)

これから

同時申請 排水計画申請 自費施行

“同時承認”



掘削申請

“同時申請”

下水道でも可能に！

目次

3. 7月から改定する内容について

水道

下水道

3. 7月から改定する内容について

水道

3階直結給水

~~24時間
チャート~~

現地で水圧測定を
お願いします！！

マッピングの
属性で確認



3F建て

システム静水圧値×0.9

3F ⇒ ≥ 0.2

3F+R ⇒ ≥ 0.25

3. 7月から改定する内容について

水道

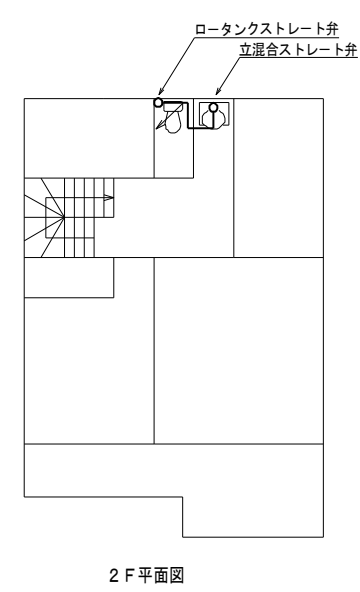
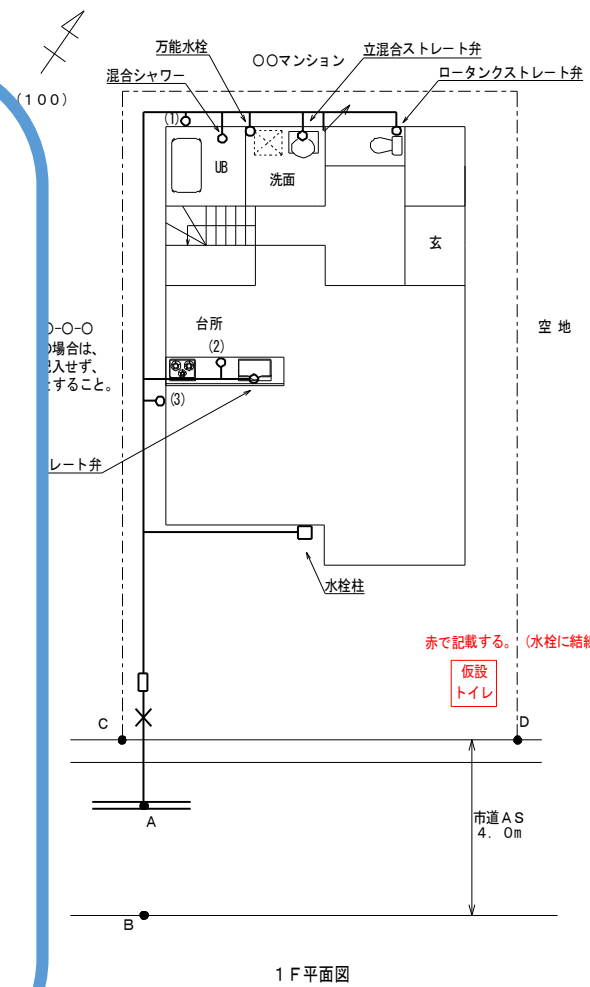
図面作成方法の変更（水道）

- ①書式変更
- ②立面図の作図範囲
- ③管種・口径の表記方法
- ④個人情報取り扱い

①書式変更

- 申込年月日
- 設置場所
- 工事事業者名
- 工事種別
- 配水池名
- 工事番号

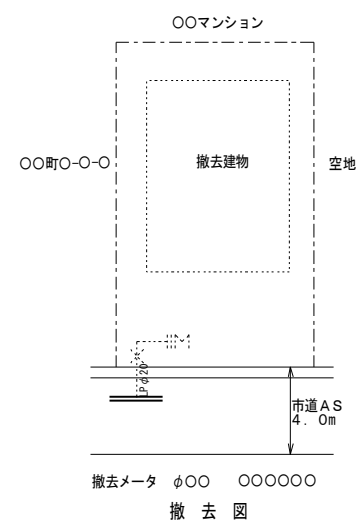
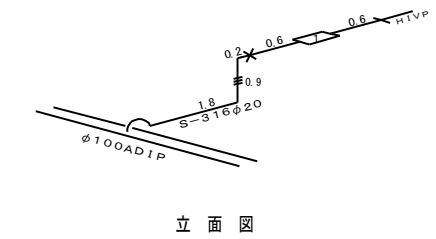
申込年月日	設置場所	工事事業者名	工事種別	配水池名	工事番号
-------	------	--------	------	------	------



品名	数量
(1) 給湯器(エコジョーズ) C付ポール弁	
(2) 浄水器 アングル弁	
(3) 床暖房用熱源機 C付ポール弁	

※記載なき水栓類の口径はφ13とする。

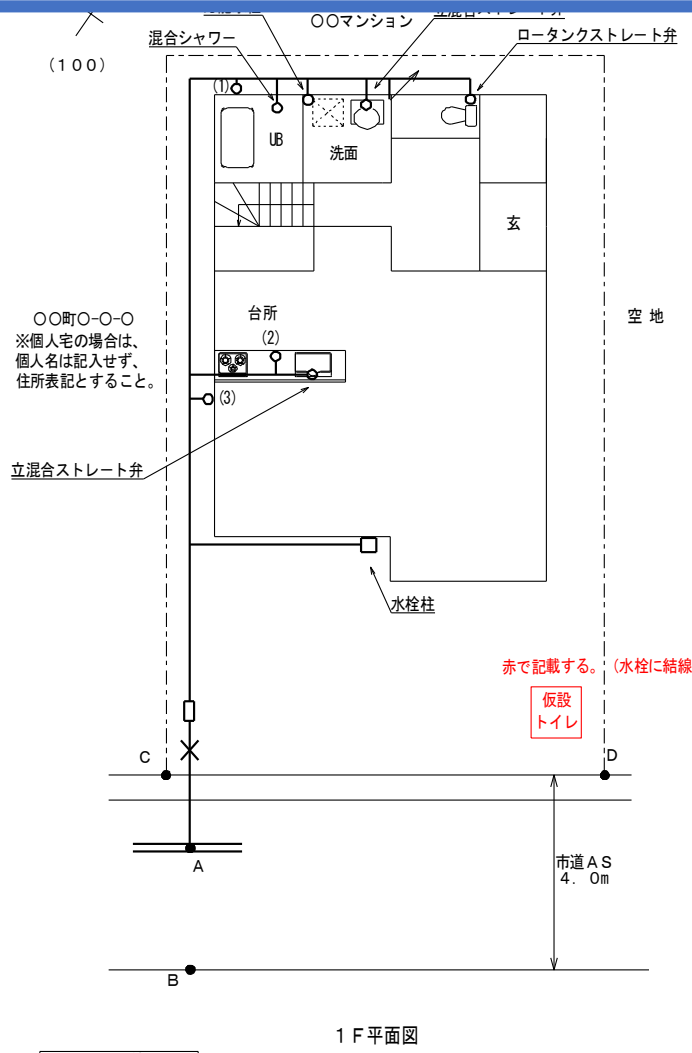
オフセット値
A : B =
A : C =
A : D =
H =



② 立面図の作図範囲

事業者名		工事種別		工事番号	
		配水池名			

案内図 H00年 00 部 P.000 0-0 申請地



OO町O-O-O
※個人宅の場合は、
個人名は記入せず、
住所表記とすること。

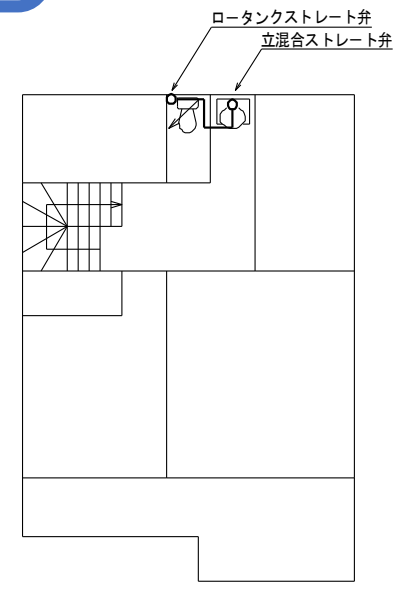
空地

赤で記載する。(水栓に結線しない)

仮設
トイレ

オフセット値	
A : B =	
A : C =	
A : D =	
H =	

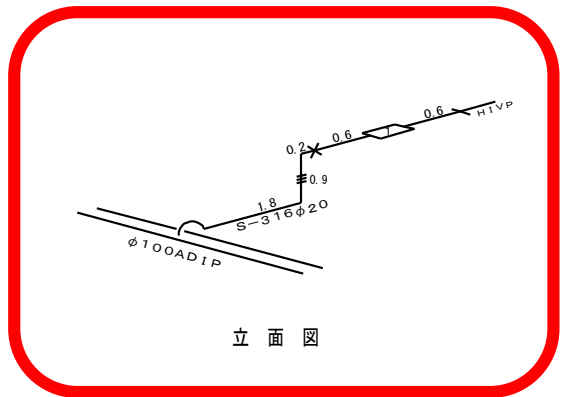
1 F 平面図



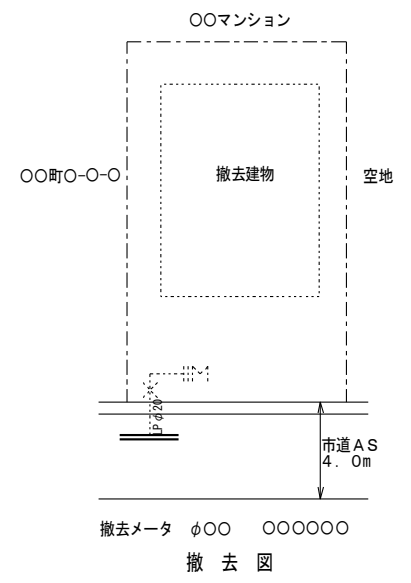
2 F 平面図

	品名
(1)	給湯器(エコジョーズ) C付ボ-ル弁
(2)	浄水器 ア-ングル弁
(3)	床暖房用熱源機 C付ボ-ル弁

※記載なき水栓類の口径はφ13とする。



立面図

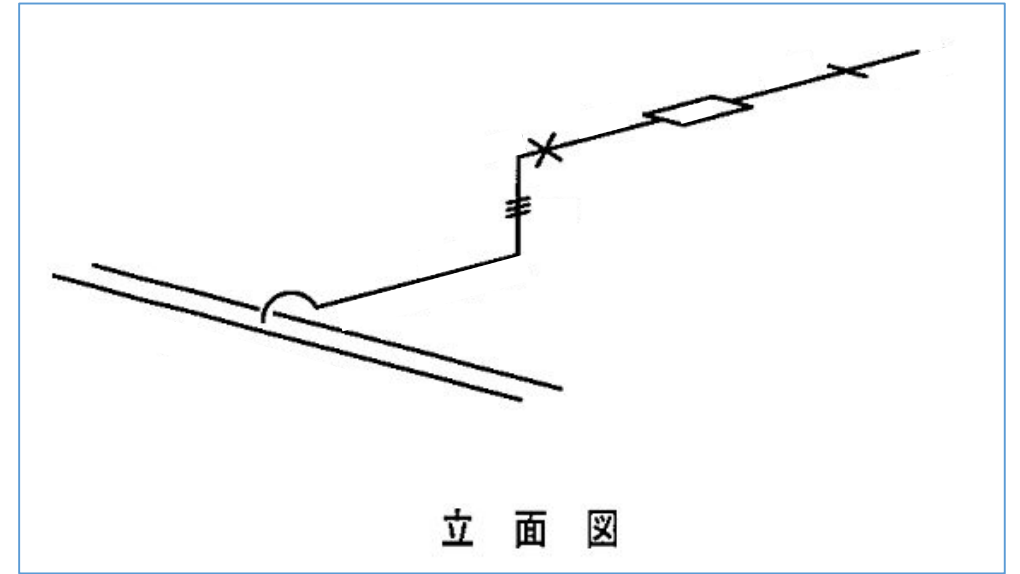


撤去メ-タ φ00 000000
撤去図

②立面図の作図範囲

これ**まで**は

専用住宅のみ



全て**メーター先まで**作図

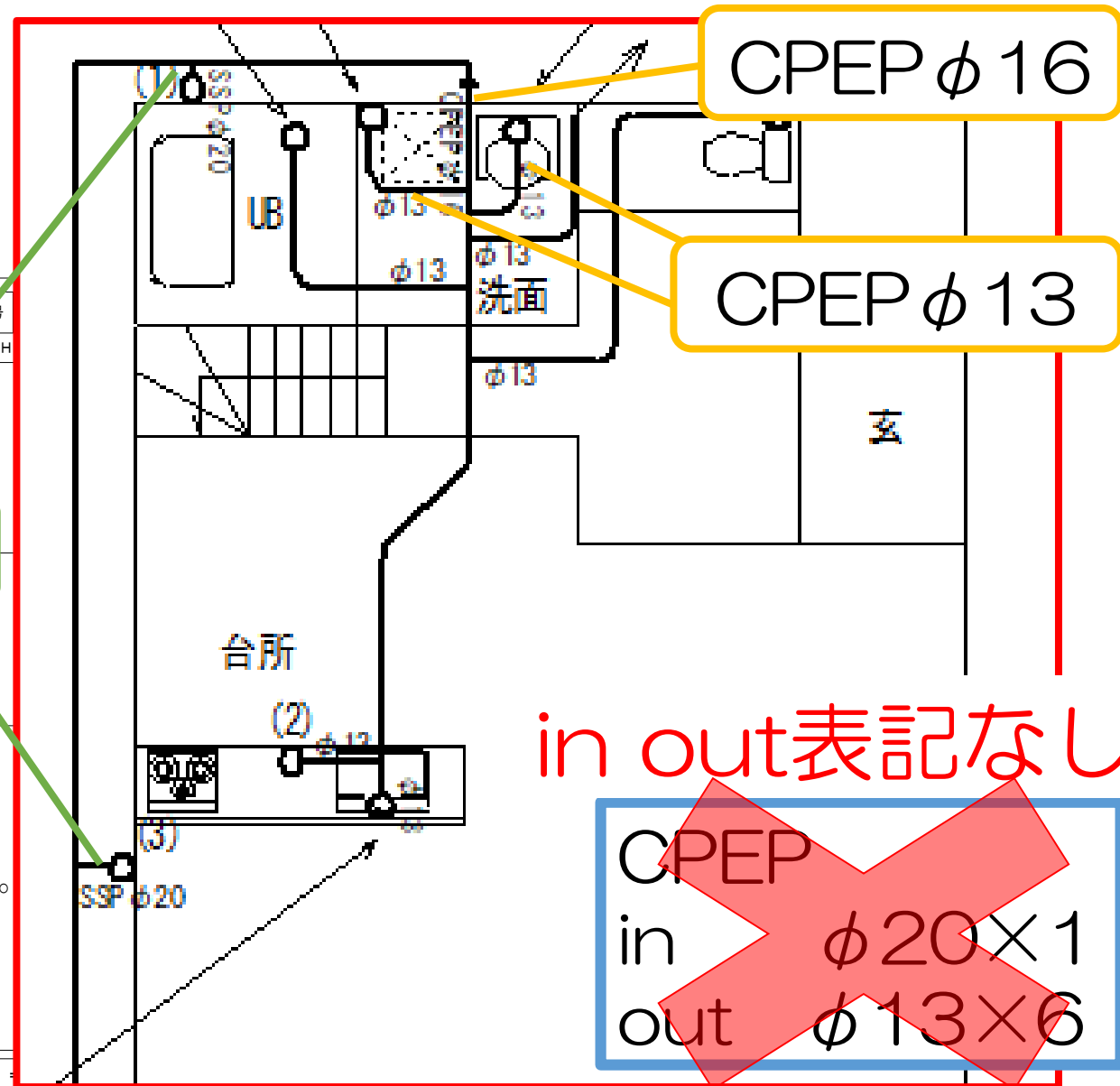
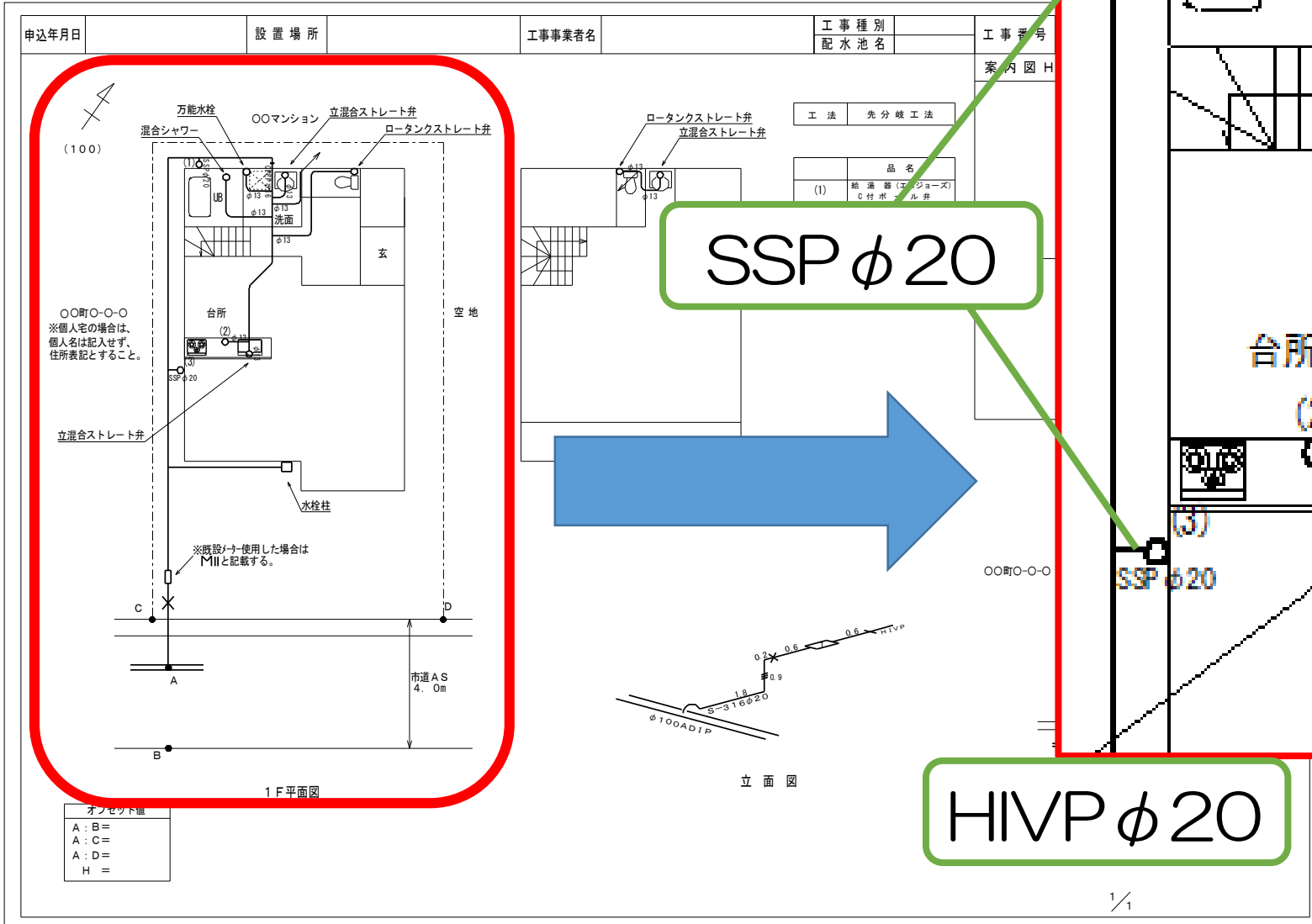
これ**から**は

すべての申請

メーター先まで作図すれば、
その先は省略できる

※審査及び検査を行う上で立面図が必要な場合は別途作図していただく場合があります。

③管種・口径の表記方法 先分岐工法



SSP φ20

HIVP φ20

CPEP φ16

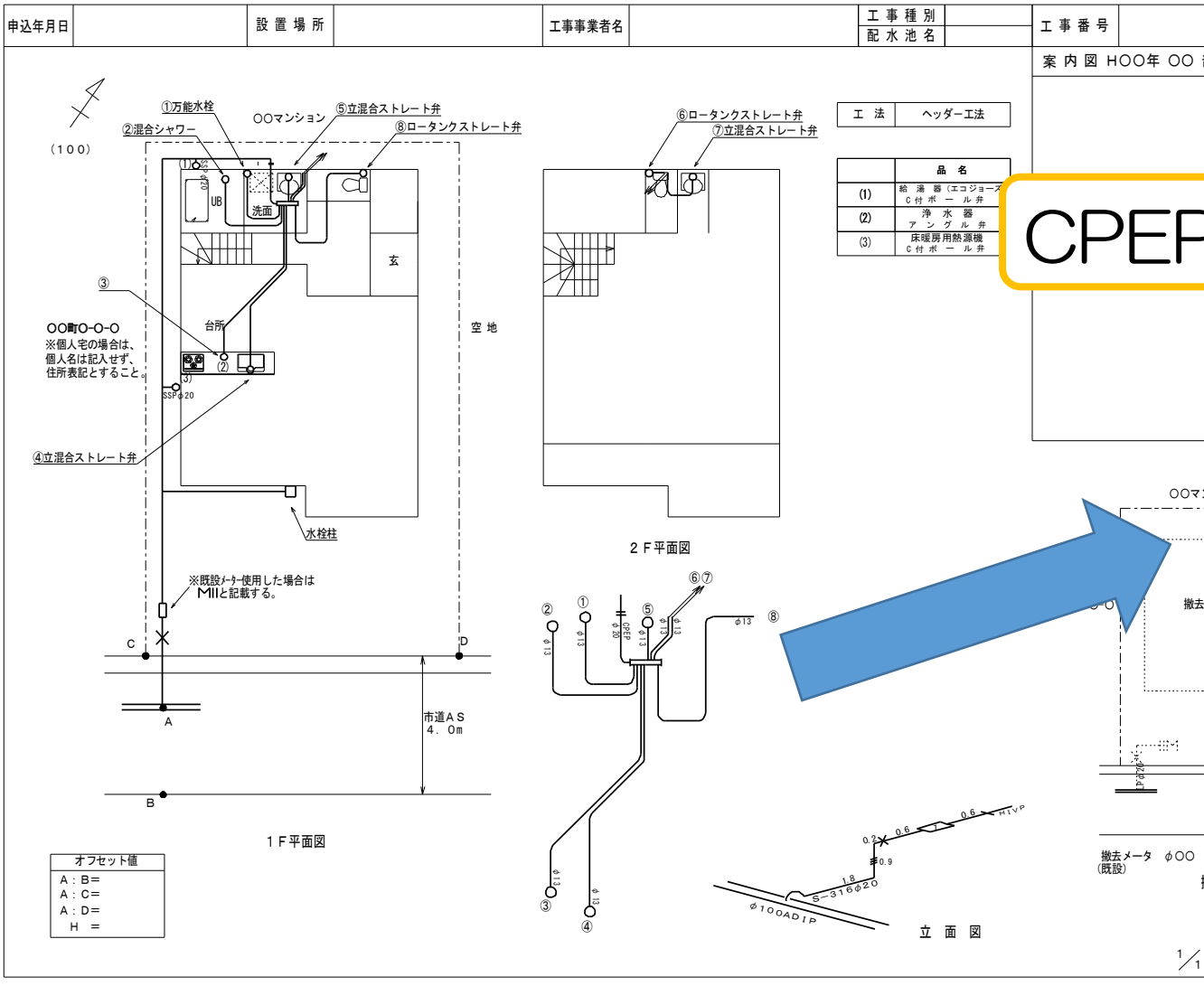
CPEP φ13

in out表記なし

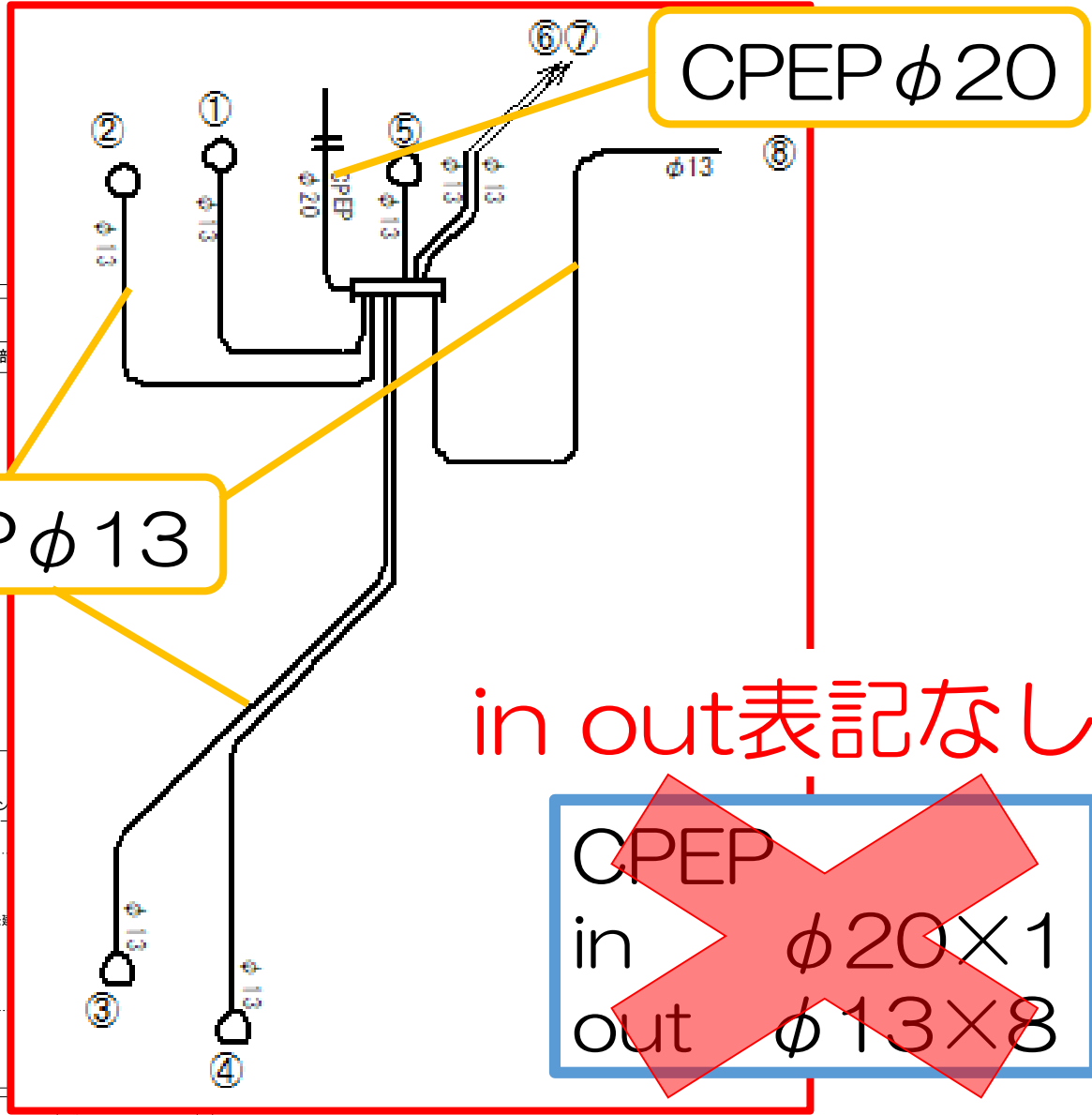
~~CPEP
in φ20×1
out φ13×6~~

管種・口径を図示

③管種・口径の表記方法 ヘッダー工法



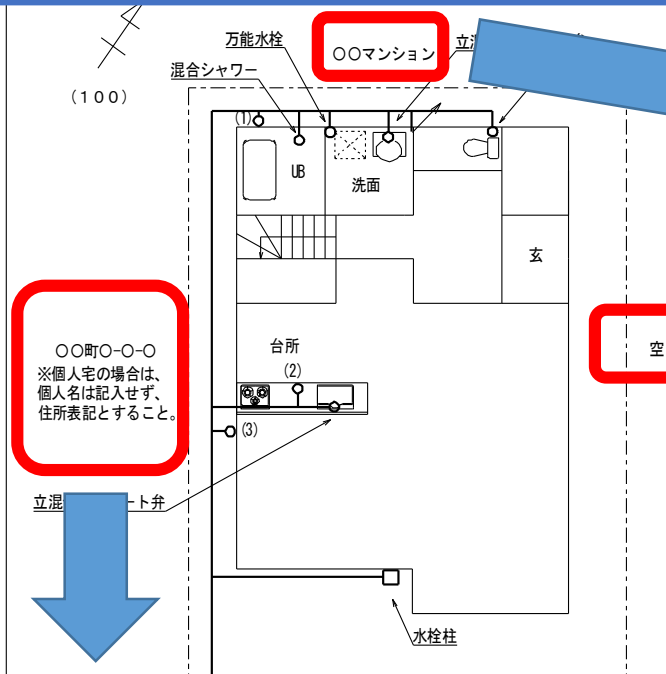
工法	ヘッダー工法
品名	
(1)	給湯器(エコジョーズ)C付ポール弁
(2)	浄水器
(3)	床暖房用熱源機C付ポール弁



管種・口径を図示

④ 個人情報の取り扱い

業者名	工事種別	工事番号
	配水池名	
案内図 H00年 00 部 P.000 0-0 申請地		



マンション名、店舗等の
目印となるものの名称

空地

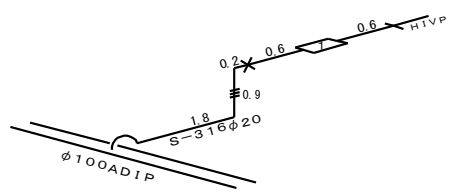
2F平面図

〇〇町〇-〇-〇
※個人宅の場合は、
個人名は記入せず、
住居表示とすること。

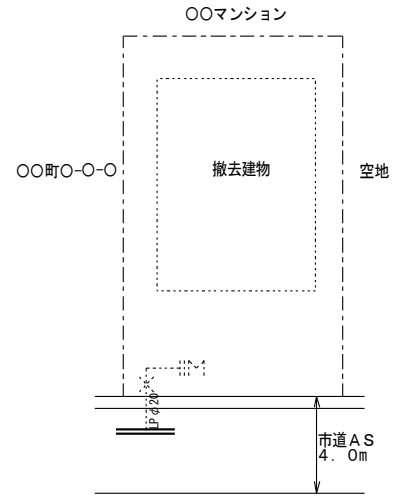
記載する。(水栓に結線しない)

仮設
トイレ

市道AS
4.0m



立面図



撤去メータ φ00 000000
撤去図

- A : B =
- A : C =
- A : D =
- H =

目次

4. 7月から改定する内容について

水道

下水道

4. 7月から改定する内容について

下水道

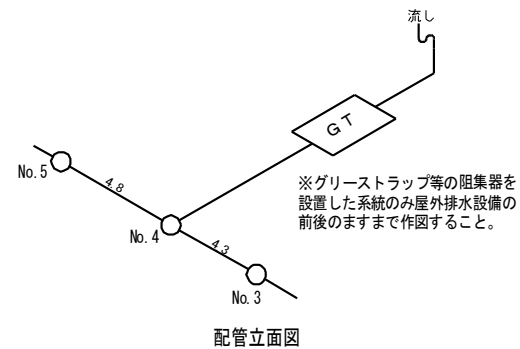
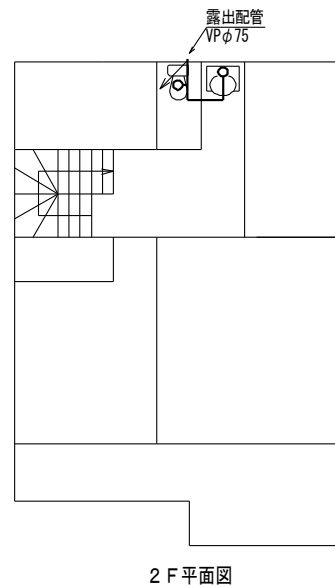
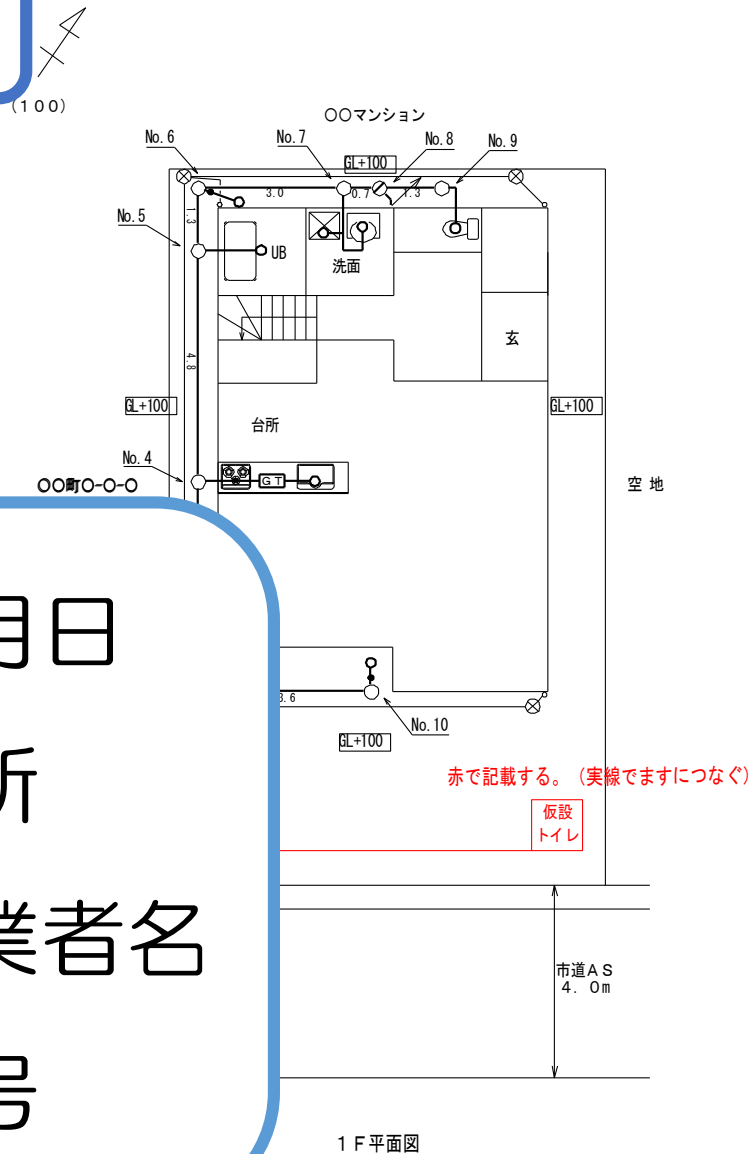
図面作成方法の変更（下水）

- ①書式変更
- ②立面図の作図範囲
- ③管種・口径・勾配の表記方法
- ④地盤高の記載
- ⑤最終ますの深さ
- ⑥雨水排水管
- ⑦個人情報取り扱い

①書式変更

工事番号

- 申込年月日
- 設置場所
- 工事事業者名
- 工事番号



※申請時には不要

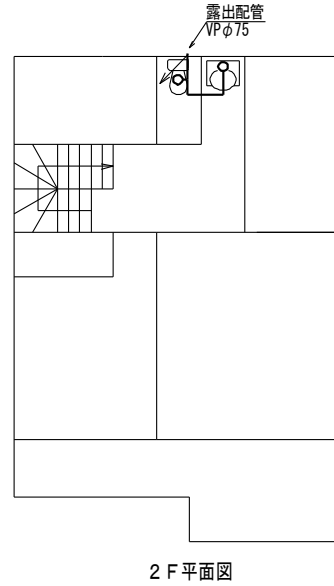
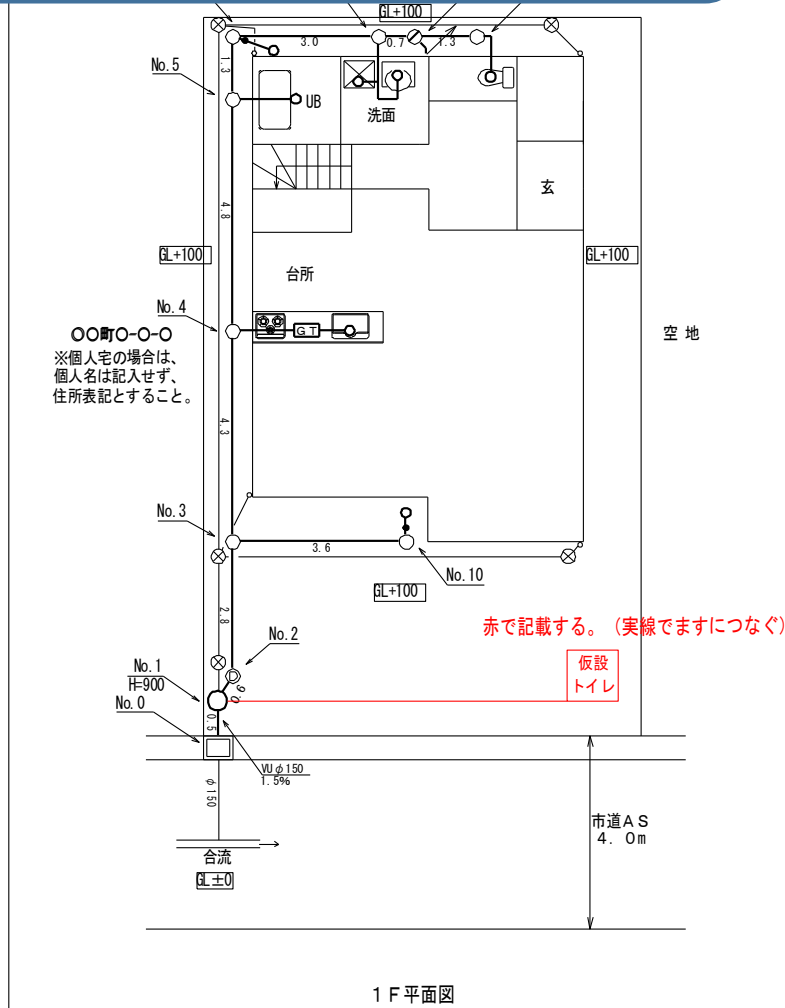
申込年月日

設置場所

工事事業者名

1 / 換工図

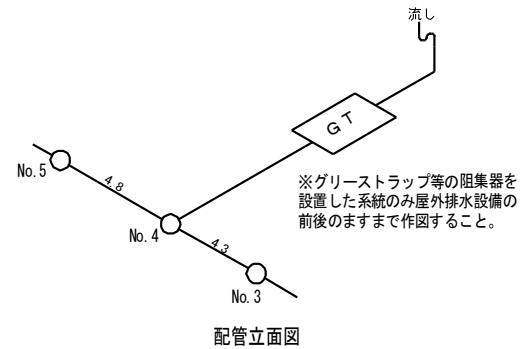
②立面図の作図範疇



工事番号

案内図 H〇〇年〇〇部 P.〇〇〇〇-〇〇 申請地

※ 記載なき配管はVUφ100 2.0%



1/1

竣工図

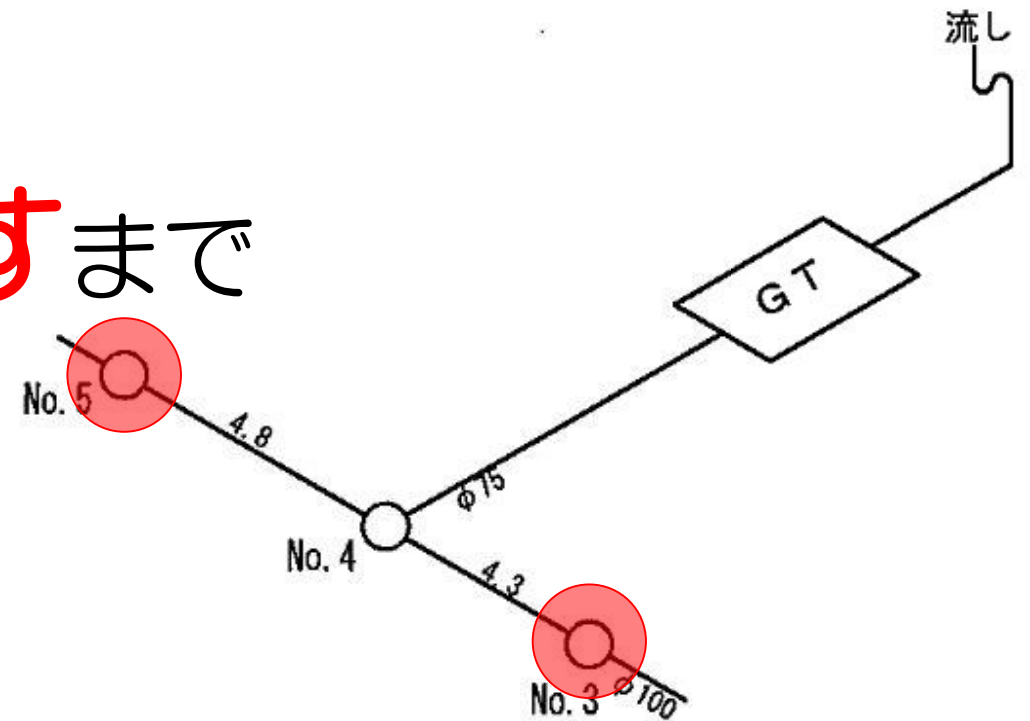
申込年月日

設置場所

工事事業者名

②立面図の作図範囲

グリーストラップ等の**阻集器**
を設置した**系統のみ**
屋外排水設備の**前後のます**まで



配管立面図

※審査及び検査を行う上で立面図が必要な場合は別途作図していただく場合があります。

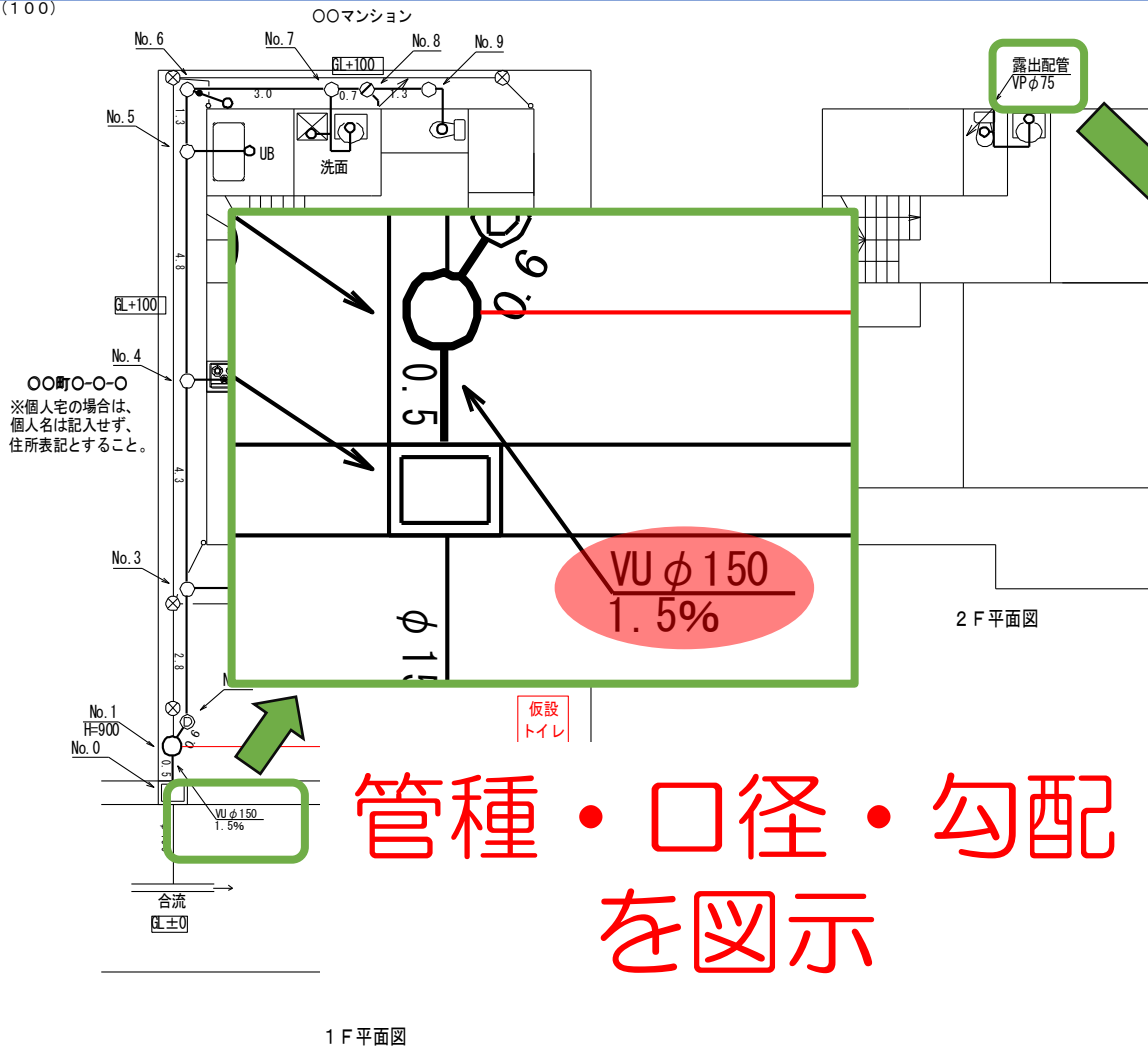
③管種・口径・勾配の表記方法

工事番号

案内図 H00年 00 部 P.000

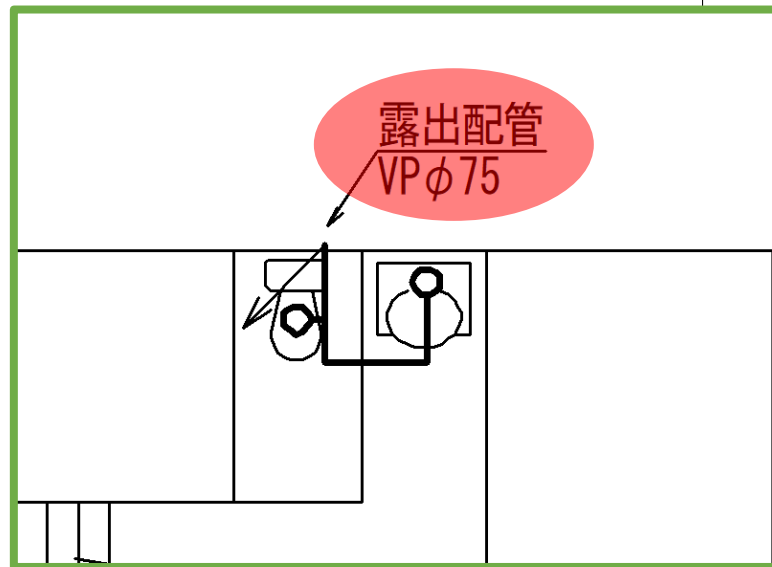
メインで使用する
管種・口径は
注釈表記も可

(100)



※ 記載なき配管はVUφ100 2.0%

管種・口径・勾配
を図示



※申請時には不要

1/1

竣工図

申込年月日

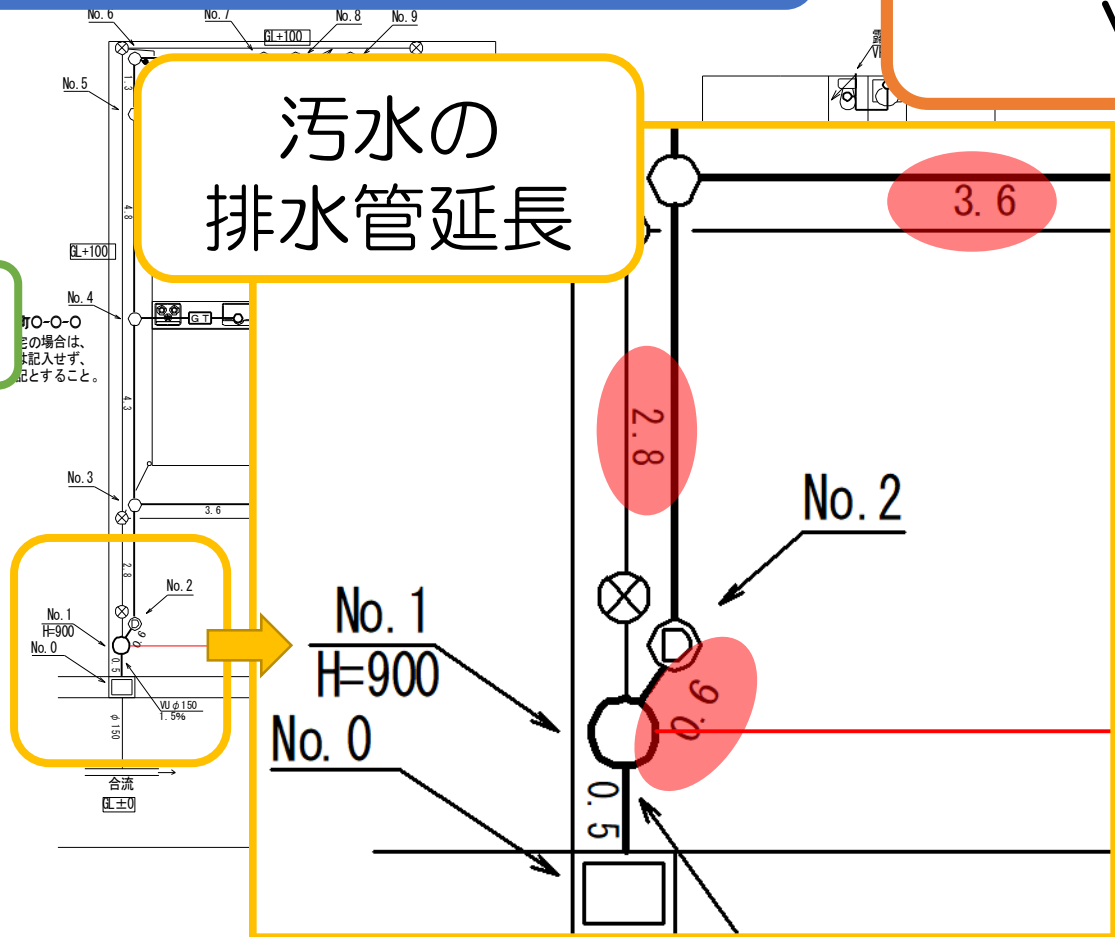
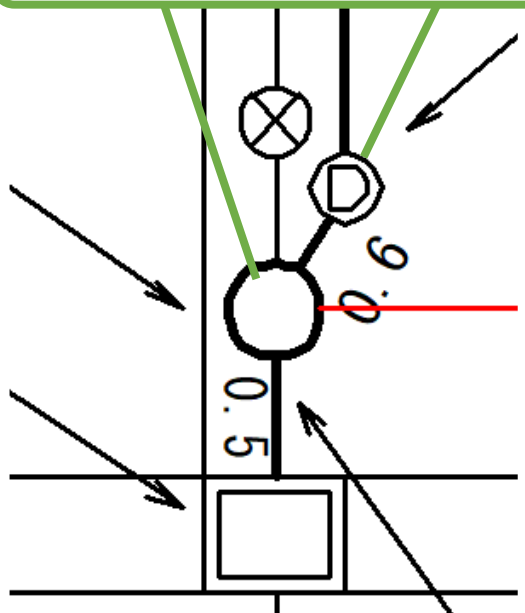
設置場所

工事業業者名

③管種・口径・勾配の表記方法

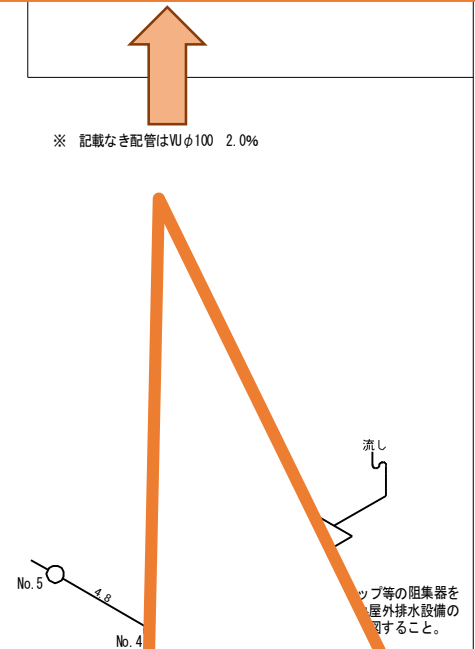
例：記載なき配管は
VUφ100 2.0%

大きさに差がある



汚水の
排水管延長

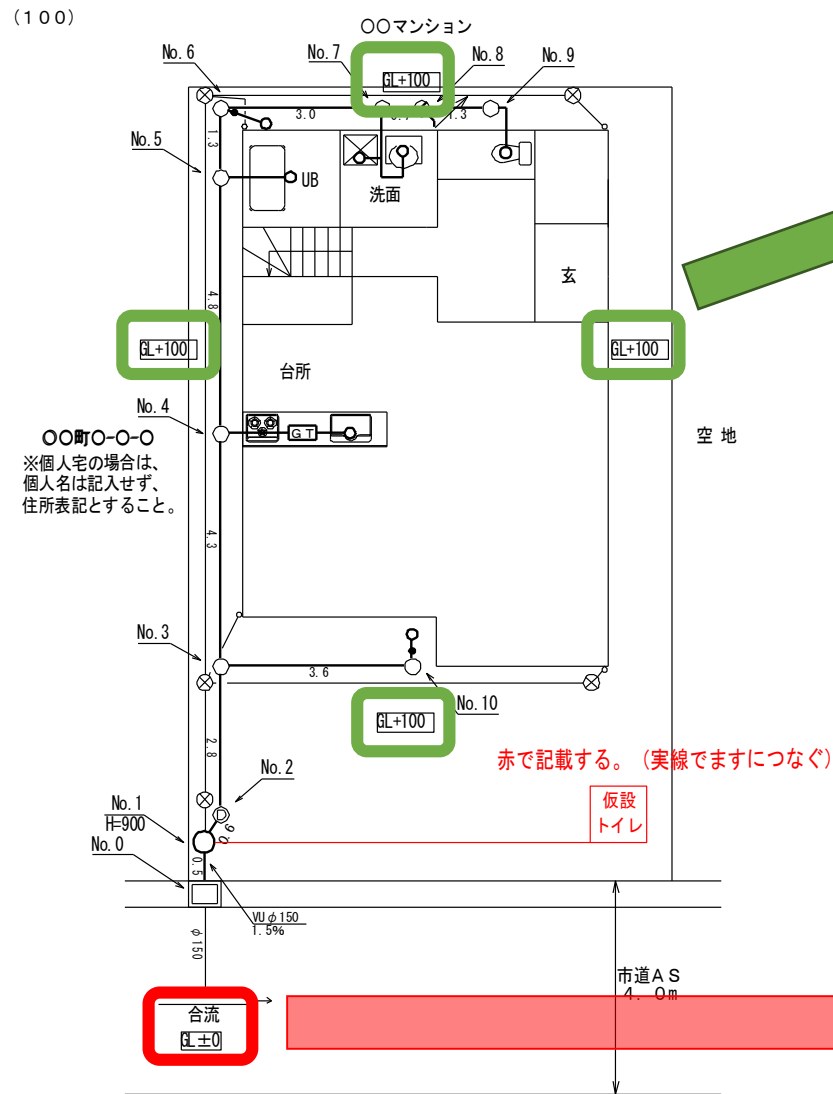
No. 1
H=900
No. 0



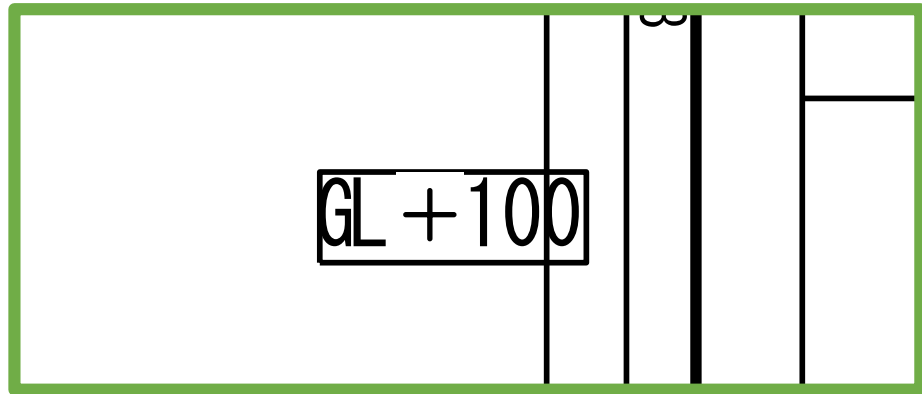
まず径の大きさが平面図で
区別がつくように図示

勾配は2%を注釈で表記し、
それ以外は平面図で記載

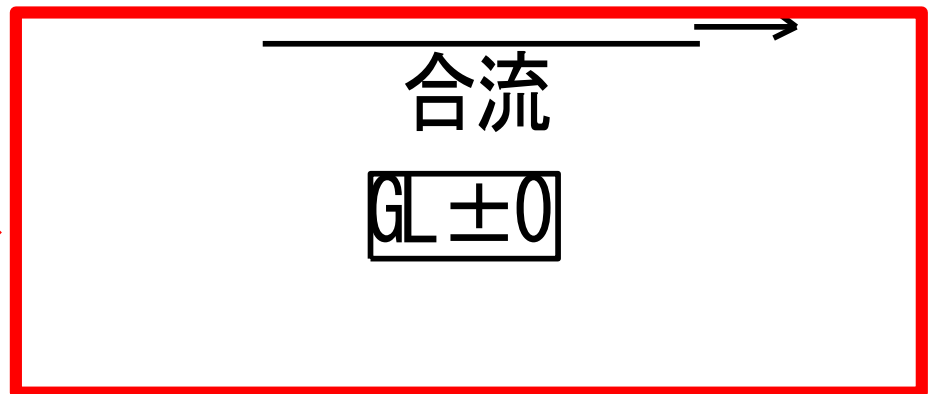
④地盤高の記載



1F平面図



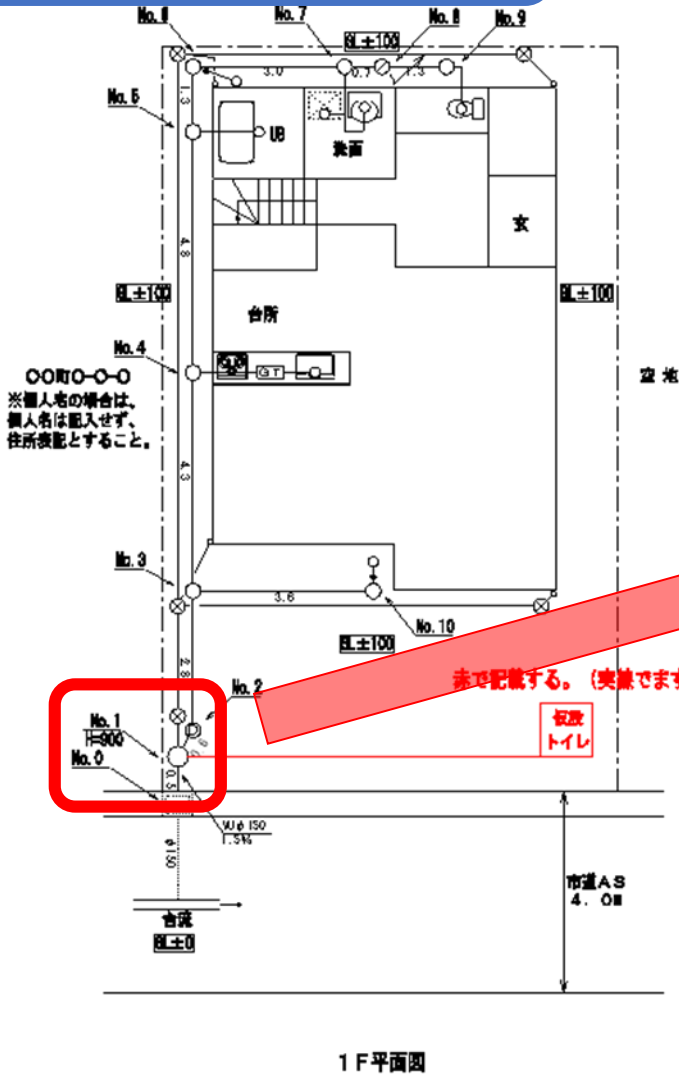
下水の接続箇所での地盤を**±0**とした時の**宅内の地盤高**を表記



⑤最終ますの深さ

工事番号

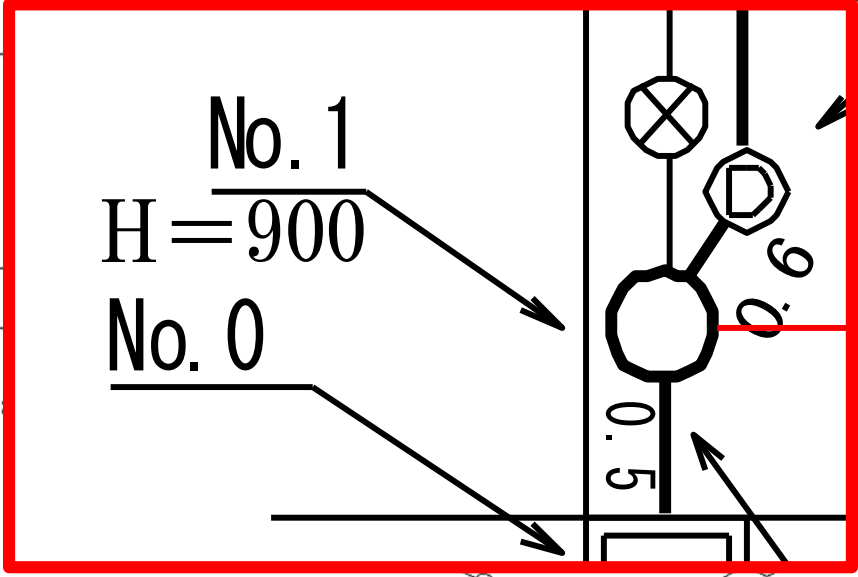
案内図 H00年 00 部 P.000 0-0 申請地



〇〇町〇〇〇
※個人宅の場合は、
個人名は記入せず、
住所表記とすること。

赤で記載する。(実線ですにつなく)

板敷
トイレ



※申請時には不要

1/1 竣工図

申込年月日	設置場所	工事事業者名	
-------	------	--------	--

⑥雨水排水管

横引管 ~~φ75~~

大曲管を使用

雨水ます泥だまり
~~H=150~~

浸透ますの設置

※ 記載なき配管はφ100 2.0%

敷地面積と排水面積が異なる場合等…

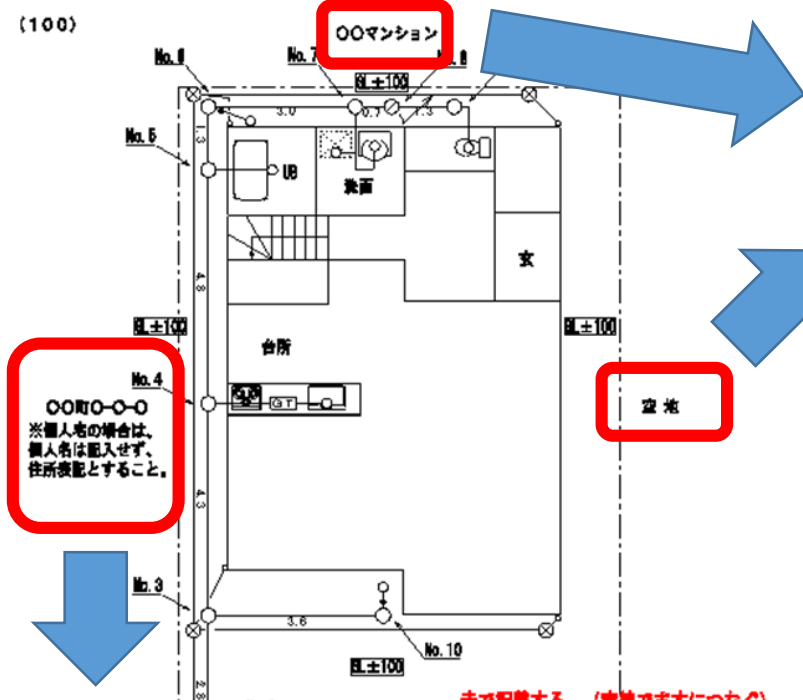
例：敷地面積が 200m^2 を超えていますが、排水面積（建築）は 130m^2 なので、雨水排水の内径を $\phi 100$ で使用します。

⑦個人情報の取り扱い

工事番号

案内図 H00年 00部 P.000 0-0 申請地

(100)

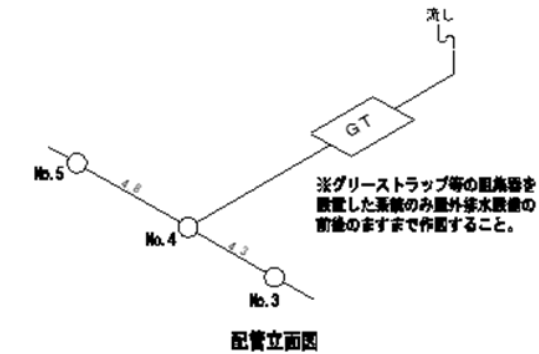


マンション名、店舗等の
目印となるものの名称

※ 記載なき配管は径φ100 2.0%

2F平面図

〇〇町〇-〇-〇
※個人宅の場合は、
個人名は記入せず、
住居表示とすること。



※申請時には不要



検査編へ…

検 査 編

令和4年度

給排水審査検査方法の改定説明会

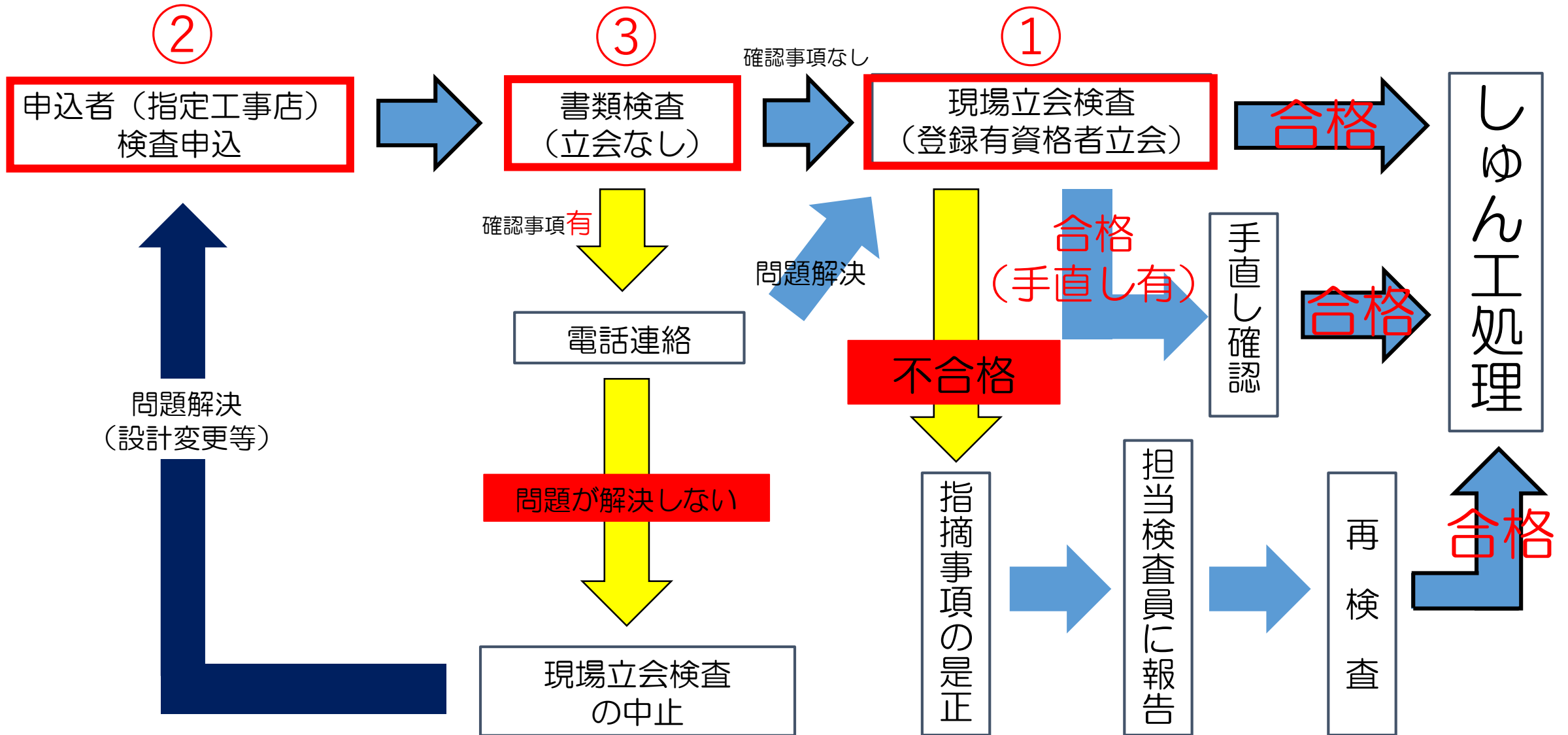
目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）



目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

2. 現場立会検査 【①給水装置工事】

耐水圧検査

写真判定検査合格

で現場検査を省略

※現場試験が原則

（
一般戸建）
提出写真

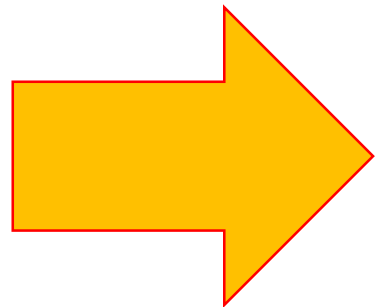
- 全景 1枚
- 近景 各1枚
 - (1.75MPa 1分/ゲージ)
 - (メータBOX内)
 - (静水圧/ゲージ) 計 4枚

2. 現場立会検査 【①給水装置工事】

宅内配管等検査

メーター周り書類検査合格
(2次側) で現場検査を省略

検査を行う場合



- (例)
- 直結増圧ポンプ
 - 受水槽
 - 特殊な給水装置類
 - 公共施設等

2. 現場立会検査 【①給水装置工事】

水質検査

従来どおり検査

有資格者立会の確認

- 代行者や新規受検者は、資格の確認を行います。



水質試験

立会ができる有資格者

⇒ 本市に登録された有資格者であること

2. 現場立会検査 【②私設下水道工事】

最終ます検査

従来どおり検査

検査
内容

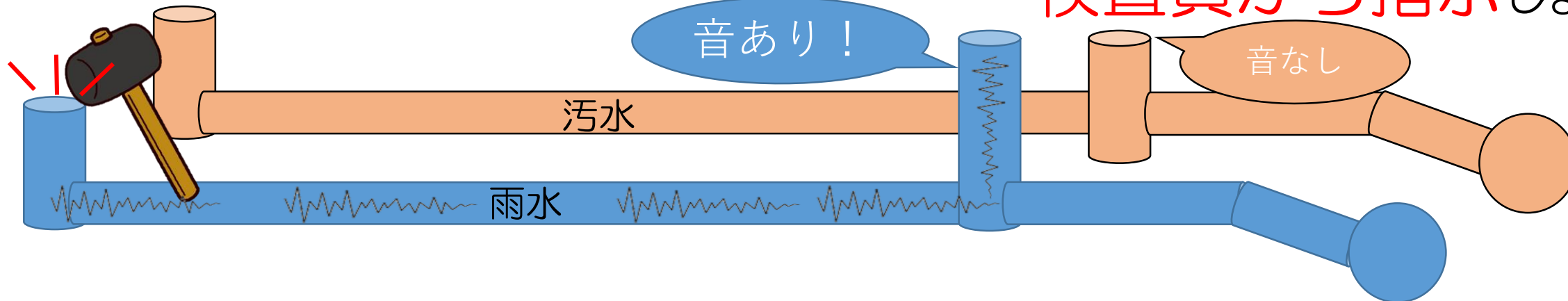
最終ますを開けて、

管径、管種、流れ（汚水）の検査を行います。

誤接続確認検査

打音検査等

“検査内容は当日、
検査員から指示します”



2. 現場立会検査 【②私設下水道工事】

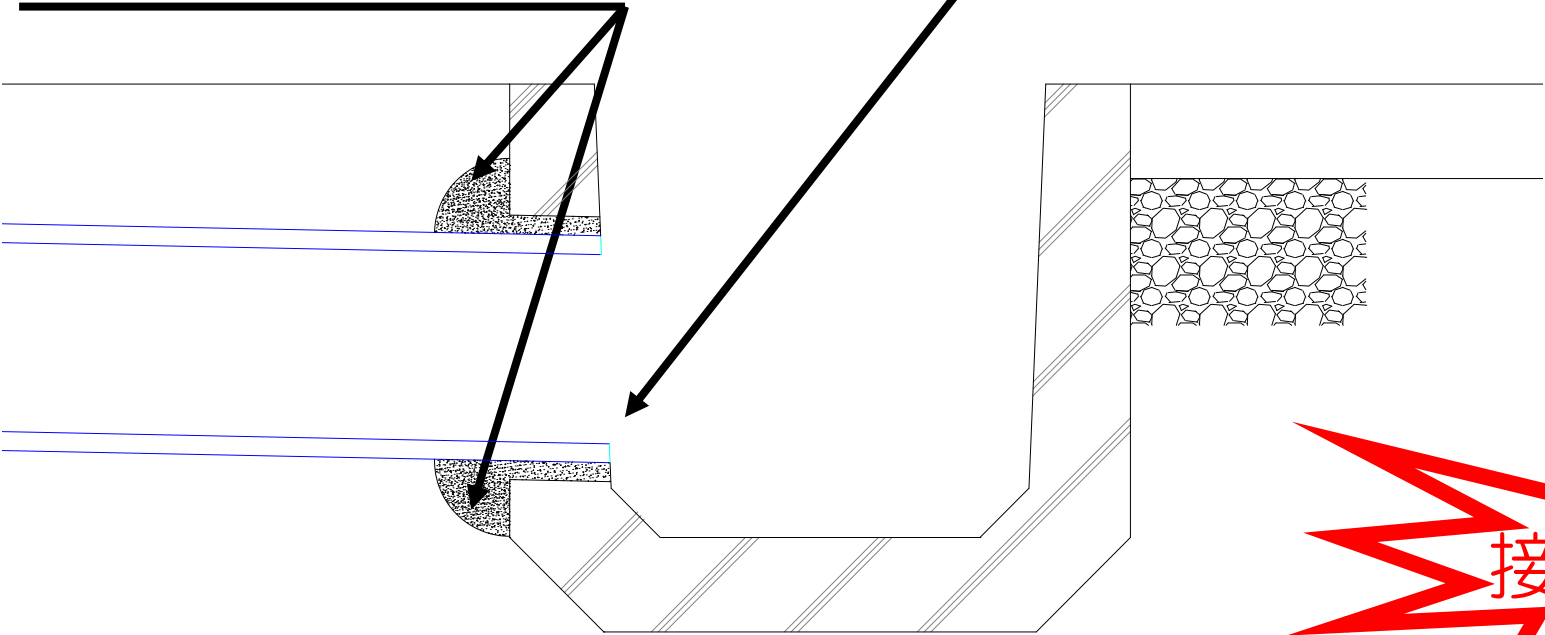
流末接続検査

写真判定検査（公共施設への接続）

※私有地内の場合は、現場検査

モルタル防護状況

表面仕上げ状況



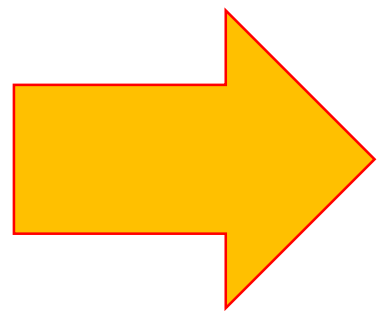
接続か所注意

2. 現場立会検査 【②私設下水道工事】

宅内配管等検査

書類検査合格で現場検査を省略

検査を行う場合



(例)

- グリース阻集器
- マンホールポンプ
- 公共施設等

目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

3. 検査申込【一部見直し】

申込手順

現在の方法を継続

4
月
か
ら

検査申込

しゅん工図等の
必要書類を持参し、
窓口へ

書類確認

受付職員による
書類の確認
(受け取り)

検査予約

各自、予定表に
記入し、完了

検 査

書 類
現場立会

見
直
し

検査申込書新様式

検査予定表新様式

区域割の見直し

目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

4. 申込時提出書類検査

書類検査
(立会不要)

現場検査 **前日までに** に実施

確認事項がある場合は、局検査員より**電話連絡**をします。

検査前日までに、**解決しない場合**は、現場検査を**中止**することがあります。

目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

5. メーター先出し

条件

検査申込+耐水圧試験合格

検査申込

検査申込書（図面等含む）
耐水圧試験関係書類
の提出

写真判定

耐水圧検査の写真判定

“合格”

メーター先出し

検査申込窓口で受領

Φ20mmメーターを2個まで

※3個以上、25mm以上は検査員と協議

検査申込書、検査予定表のメーター先出し欄に

○をつける

目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

6. 分岐工事 【①不断水分岐】

せん孔径	20mm・25mm	50mm	75mm以上
耐水圧試験	1.75MPa 1分		
検査方法	写真判定検査	現場立会	現場立会
せん孔資格者 確認	写真確認 (黒板に名前・番号記入)	現地確認	現地確認
特 例		検査員と協議の上、 写真検査に代える ことができる。	資料を提出すること で、耐水圧試験を 1.23MPa 10分で行 うことができる。
備 考	予定表に記入 (50mmは写真判定検査の場合)		忘れずに!

6. 分岐工事 【②断水分岐】

現場立会

従来どおり (局職員による断水作業)

断水分岐申請

局検査員の事前指名

事前相談

検査申込

2週間以上

断水施工

事前相談を経ないと
申込はできません。

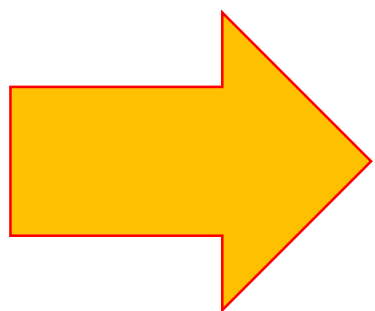
目 次

1. 標準的な検査の流れ（申込～しゅん工処理）
2. 現場立会検査
 - ①給水装置工事
 - ②私設下水道工事
3. 検査申込【一部見直し】
4. 申込時提出書類検査
5. メーター先出し
6. 分岐工事
 - ①不断水分岐
 - ②断水分岐
7. 適用日

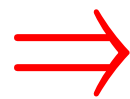
7. 適用日

適用日は、**7月1日**

申請済みで現場が既に進んでいる場合



新検査



基本

従来検査



併用

※検査員に相談

ご清聴ありがとうございました。

ただいま質疑応答中です…

※ zoomの方は、参加できません。



<https://www.water.yokosuka.kanagawa.jp/tech/kyuhaisui.html>